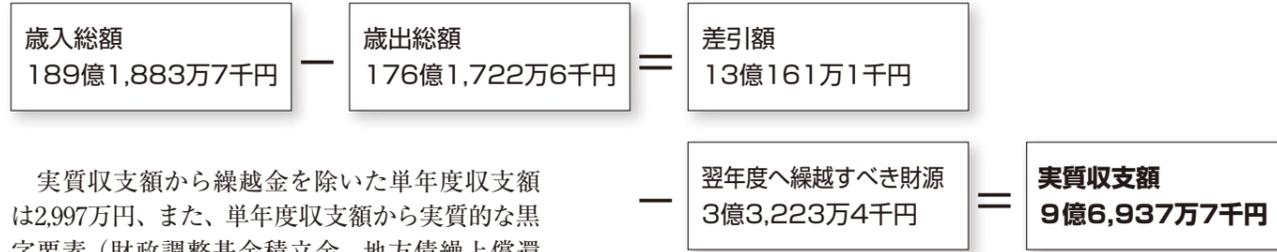


一般会計の決算状況・実質収支は？



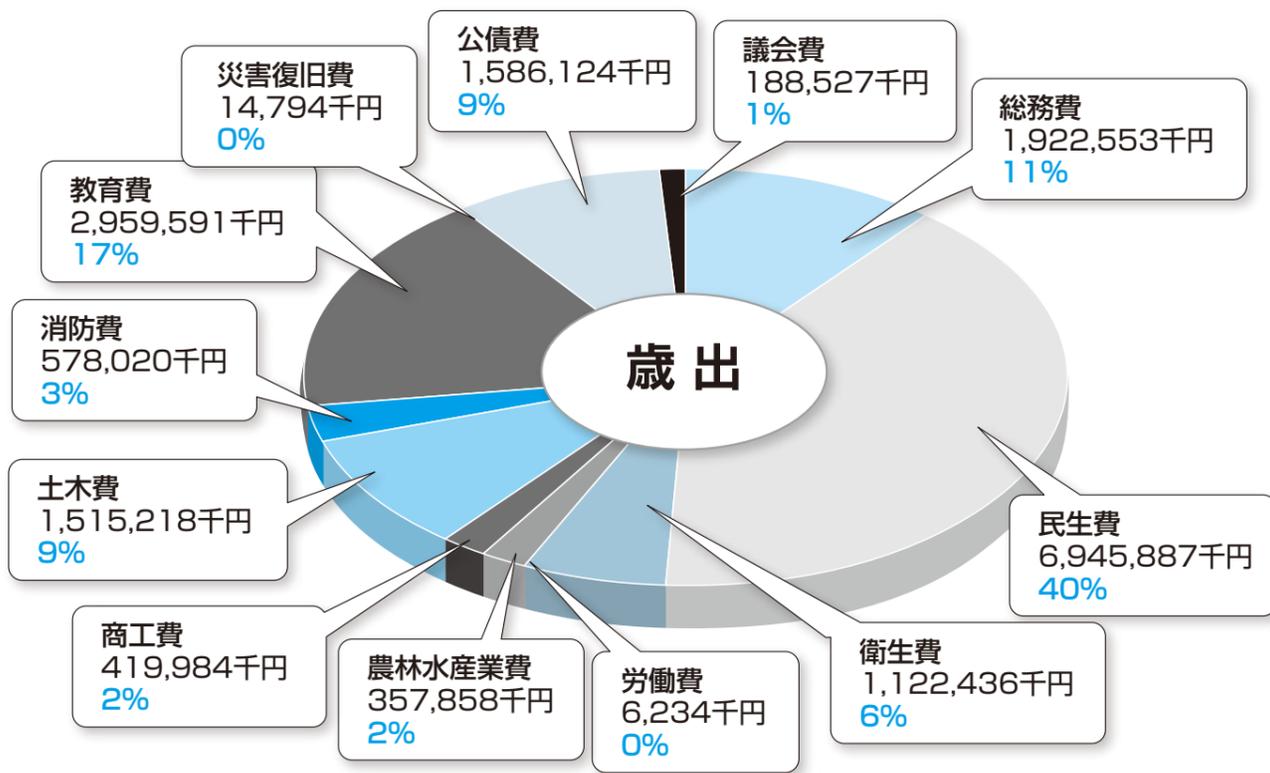
実質収支額から繰越金を除いた単年度収支額は2,997万円、また、単年度収支額から実質的な赤字要素（財政調整基金積立金、地方債繰上償還額）や赤字要素（財政調整基金取崩し額）を加減した、実質単年度収支額は9,559万2千円となっています。

合志市の家計簿 平成24年度 決算

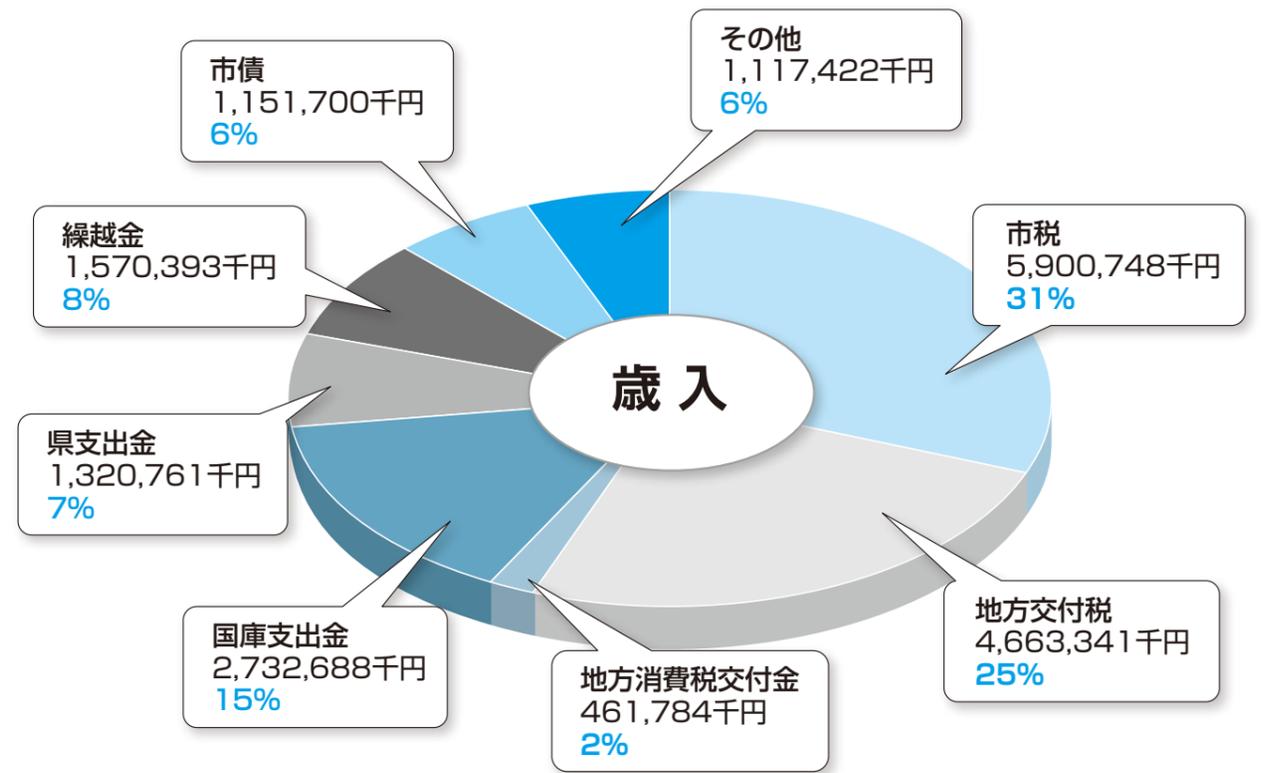
●問い合わせ先
財政課（合志庁舎） ☎248-1667

市民の皆さんが納めた税金などが、どのように使われ市の財政が運営されているのか、市の財政状況について平成24年度決算の概要を地方財政状況調査表（決算統計）に基づきお知らせします。決算統計は総務省の基準により決算を分析したもので、決算書の数値とは異なります。市では、毎年6月と12月に予算や収入・支出の状況などを公表しています。詳細は、市役所の情報公開コーナーやホームページに掲載しています。

一般会計の歳出総額 176億1,722万6千円



一般会計の歳入総額 189億1,883万7千円



特別会計の状況(実質収支額)

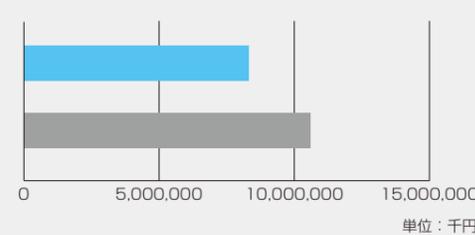
国民健康保険特別会計	2億1,014万6,641円
後期高齢者医療特別会計	174万9,283円
介護保険特別会計	3,994万6,634円
下水道特別会計	9,121万5,654円
農業集落排水特別会計	196万8,496円

支出の状況

一般会計の歳出は176億1,722万6千円で、平成23年度に比べて9億3,758万9千円(5.6%)増えています。市民一人当たり、32万9千円が使われたこととなります。

歳出を目的別に見ると民生費が約40%、教育費が約17%、総務費が約11%、公債費が約9%となっています。性質別には、扶助費が約27%、普通建設事業費が約16%、人件費が約16%、繰越金が約11%となっています。

■自主財源.....8,284,186千円
■依存財源.....10,634,651千円



収入の状況

一般会計の歳入は189億1,883万7千円で、平成23年度に比べて1億6,880万7千円(0.9%)増えています。主な要因は、市税や地方交付税、繰越金が増え、県支出金や繰入金、市債が減ったことによるものです。

皆さんが納めた市税(市民税や固定資産税、軽自動車税など)は、平成24年度決算で歳入の約31%を占めています。平成23年度と比較して、金額で1億1,176万3千円増え、割合はほぼ横ばいとなっています。市民税は年少扶養控除の廃止が増加の要因となっています。